

# - DiagPrintout 取扱説明書 -

## ■ 「DiagPrintout」 とは？

「DiagPrintout」は、診断日時・お客様や車両の情報・診断結果をまとめたレポート(エビデンス)発行機能です。  
**「いつ・誰が・どこで・どのスキャンツールで」**診断やエーミングを行ったのか、記録として残すことができるだけでなく、診断および、エーミング調整結果、故障箇所の報告をエビデンスとしてカーユーザーに提出することが可能な機能となっております。

### «レポート イメージ»

【愛車診断レポート】

お客様名 : OO OO	車種 : OOO	
メーカー : OOO	車台番号 : XXXXXXXXXX	
登録番号 : OO OOO O OO-OO	診断日 : 2018/07/24	
車両型式 : XXX-XXXXX		
診断結果 :		
システム	故障コード	内容
エンジン	29EB00	EGR 冷却、妥当性 : 排ガス再循環クーラー バイパス フラップの故障、またはクーラー効率が低すぎる
フューエルポンプ	なし	
トランスミッション	なし	
ギヤセレクタースイッチ	なし	
ABS/DSC	なし	
電動/ワステ	なし	
統合ジャーシ	482791	予測アシスタント: ナビゲーション データに異常あり
	DO14F6	KOMBI インターフェース(走行距離/走行可能距離、276.48) : 信号は無効
	DO16E1	メーター パネル インターフェース (走行ダイナミクス表示ステータス、97.12) : 信号は無効
エアバッグ	なし	
インストルメント	なし	
A/C	なし	
アラウンドビューカメラ	CAAC01	KOMBI インターフェース(走行距離/航続距離、0x330) : 信号が無効
カメラアシスト	なし	
FEM	8040B7	ターミナル 15 のオフ : 始動性能上限値に達した
	8040B9	ターミナル 30B のオフ : 始動性能上限値に達した
REM	なし	
運転席シート	なし	
タッチボックス	なし	
コントローラー	なし	
OC/HU-H	なし	
ビデオモジュール	なし	
TCB	なし	
ゲートウェイ	なし	
OO自動車 担当者 : OO OO 〒XXX-XXX OO県OO市OO町XX-X TEL : XXX-XXX-XXXX / FAX : XXX-XXX-XXXX メール : XXX@XXX.XXX 使用番号 : FA1-21-000000		

## ご注意ください！

※SSS-T2 で「DiagPrintout」機能をお使いいただくには**「特殊機能」**でのデータ保存が必須です。

「特殊機能」ではなく「車両診断」よりデータ保存を行った場合は、  
インターフェイスにデータが保存されませんので、ご注意ください。

車両診断で行なった診断結果を印字したい場合は、別途「車両診断結果の印字」に関する資料をご覧ください。

※こちらの車両診断の  
データ保存では  
「DiagPrintout」機能は  
お使いいただけません



### 《SSS-T2 「特殊機能」データの保存方法》

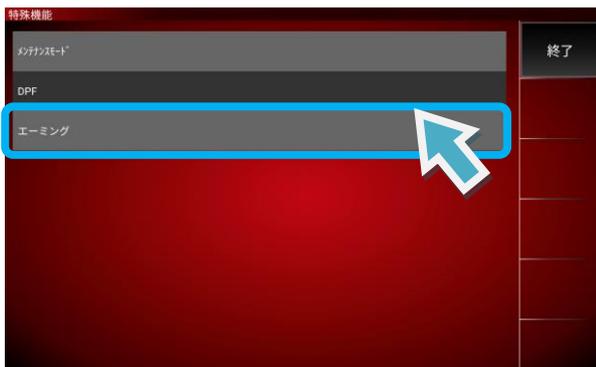
#### 1. 特殊機能をタップします



#### 3.全自己診断またはエーミング作業をタップします。 今回は全自己診断で手順を説明いたします。 車種を選択し、タブレットの指示に従って該当の 内容をタップしてください。



#### 2.エーミングをタップします



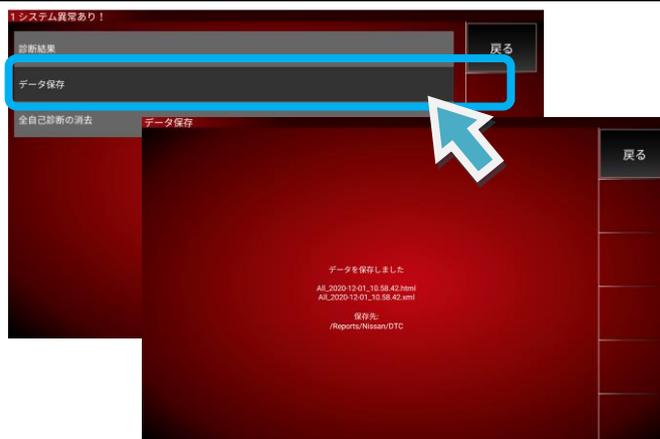
#### 4.情報をすべて入力すると、診断を開始します。 画面が切り替わるまでしばらくお待ち下さい。



5.下記の画面が表示されましたら診断完了です。  
診断内容を確認する場合は、「診断結果」をタップし、  
データを保存する場合は「データ保存」をタップし  
てください。



6.「データ保存」をタップすると、  
データが保存されます。  
インターフェイスと PC を付属の micro-USB B  
コードで接続します。  
レポート発行方法は次ページ以降をご覧ください。



## DiagPrintout「2」 取扱説明書

### 愛車診断レポート&作業サポートレポート 作成の流れ

1. ご使用される診断機の時計設定を「設定」から確認します。  
(作業実施日が表示されますので、正確なエビデンスとなります)

2. 事前にパソコンへ仮想PDFプリンターをインストール  
※windows10からは仮想PDFプリンター「Microsoft Print to PDF」  
が標準装備されていますので、インストールは必要ありません。

仮想PDFプリンターをインストールしておくことによりPDFとして  
保存(出力)することができます。  
検索サイトで「仮想pdfプリンター」などで検索して頂くと各種  
仮想PDFプリンターが検索されますので、目的にあったソフトを  
インストールしてください。  
例) CubePDF 等

3. 診断を行い診断結果を保存します。

4. 診断機の診断機本体をパソコンに接続します。

5. 手順書を参考にPDFファイルを作成して下さい。

※「特殊機能」より行った全自己診断・エーミング作業のみ対応となります

#### ■ 重要 ■

事前に仮想PDFプリンターをパソコンへインストールしておくことにより、印刷時にPDFとして保存(出力)できます。  
検索サイトで「仮想pdfプリンター」などで検索して頂くと各種検索できますので、目的にあった  
ソフトをインストールしてください。

### 作業サポートレポート

お客様名： 岐阜 太郎

メーカー： ○○○

登録番号： △△-△△

車両型式： △△-△△△△△

走行距離： 33333 km

車種： ○○○○

車台番号： △△-△△△△△

初度登録： 2017/07

作成日： 2020/07/29

車両情報

診断日は診断機本体設定の日付が反映されます。  
レポート作成前に必ず確認してください。

### 作業報告

【診断結果(入庫時：2020/07/28)】

システム	故障コード	内容
全てのシステム	なし	

【作業サポート実行結果】

実施日時	項目	結果
2020/07/28 14:25	トヨタ>作業サポート>プリクラッシュ②>前方レーダー光軸調整	正常に終了しました。

【診断結果(出庫時：2020/07/28)】

システム	故障コード	内容
全てのシステム	なし	

診断・作業情報  
(入庫時、出庫時の診断結果が重要)

株式会社 ツールプラネット

担当者：○○ ○○

〒500-8122

岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2

TEL：058-246-1733 / FAX：058-246-1736

メール：○○△△@○○○○.△△

使用テスト：TPM-5 S/N35-100219

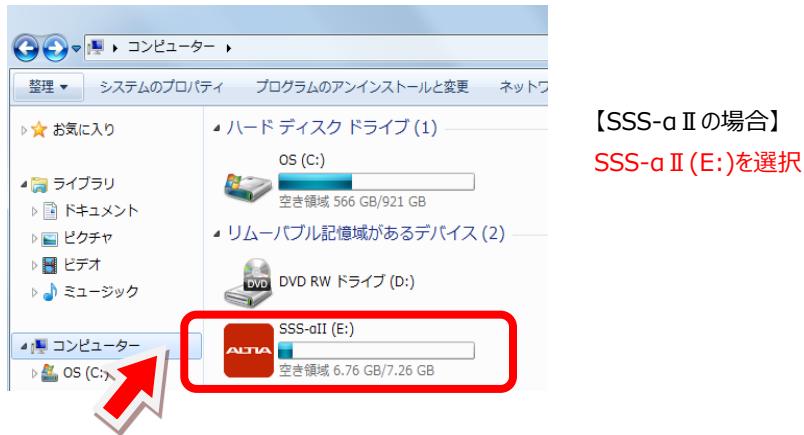
自社情報  
(入力内容は保存されます)

# 1. 基本操作

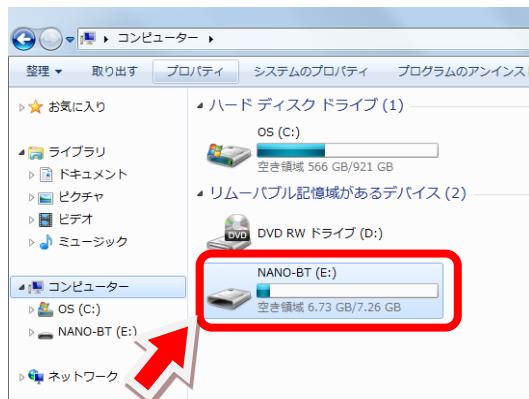
## 1 DiagPrintout2の起動

1.

診断機を付属のmicroUSBケーブルでパソコンに接続して該当の「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

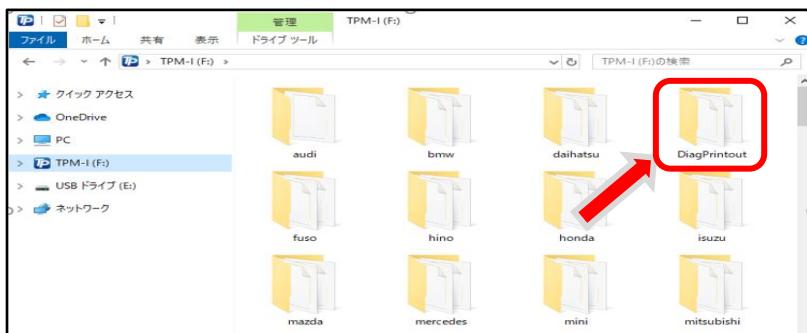


【SSS-T2の場合】  
NANO-BT (E:)を選択



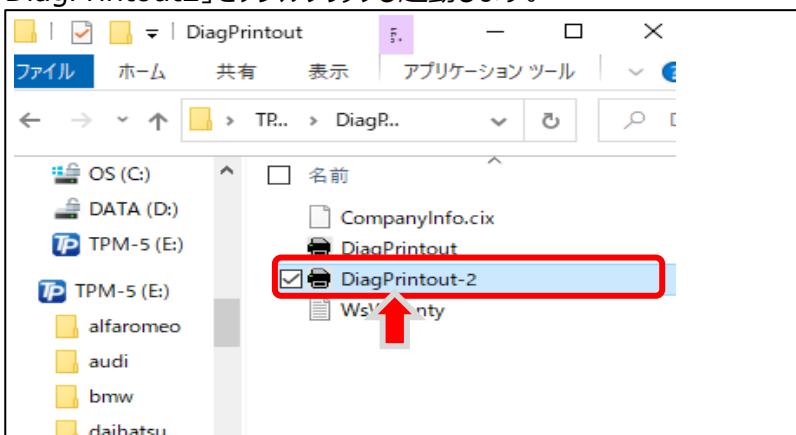
2.

「DiagPrintout」をダブルクリックします。



3.

「DiagPrintout2」をダブルクリックし起動します。



4.

ホーム画面が表示されます。

①「愛車診断レポート」画面が表示されます。

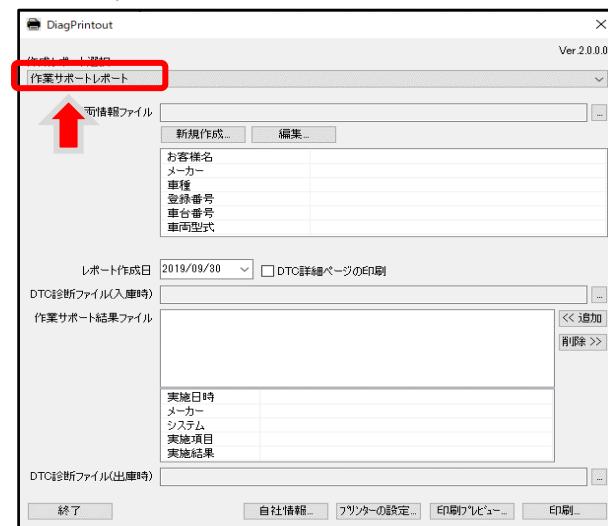


※診断結果(全自己診断)のレポート発行：「愛車診断レポート」  
※エーミング証明書発行：「作業サポートレポート」

①-2 作成レポート選択ボタンで、レポートの種類を選択できます。

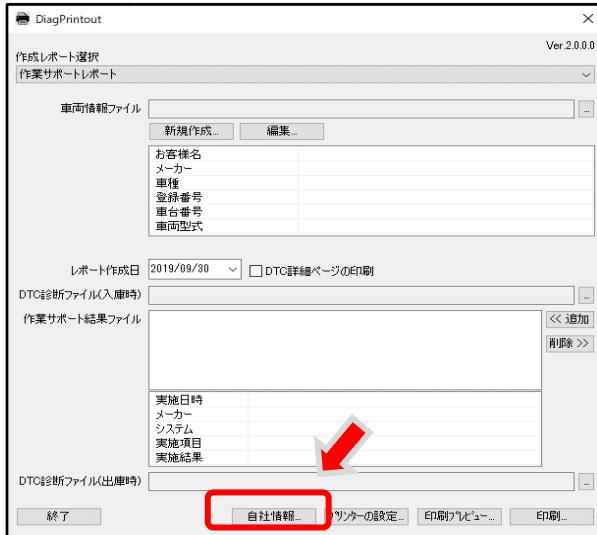


①-3「作業サポートレポート」を選択しレポート作成画面へ

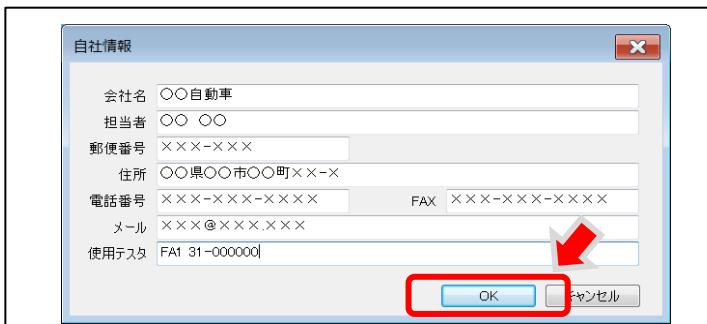


## 2 自社登録情報

1. 「自社情報」をクリックします。

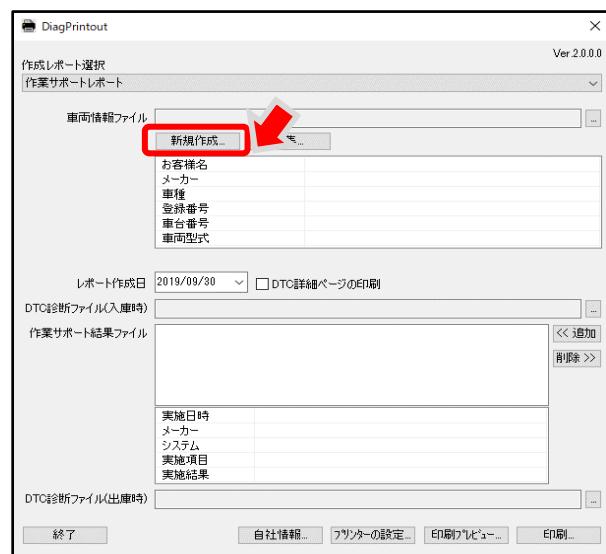


2. 入力欄に必要事項を入力して「OK」をクリックします。  
※ ファイル名 Companyinfo.cix で保存されます。  
※ 「使用テスト」欄には本体シリアル番号や機種名を入力してください。



## 3 車両情報登録

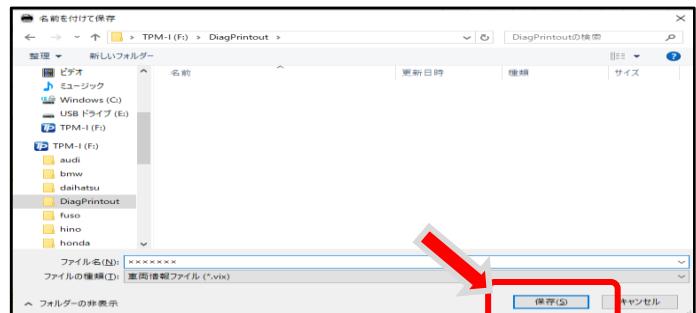
1. 「新規作成」をクリックして車両情報を入力します。



2. 入力欄に必要事項を記入して「OK」をクリックします。



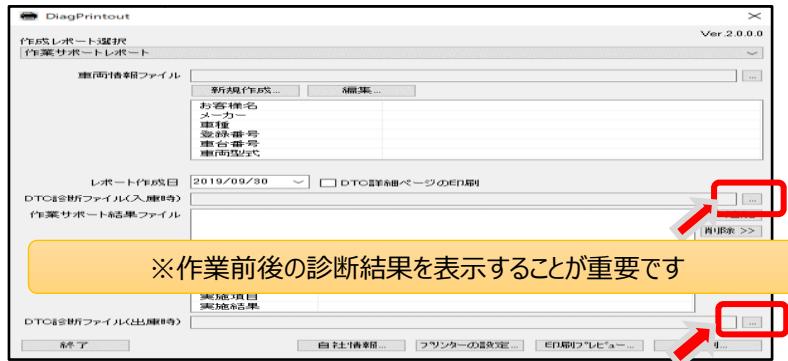
3. ファイルの保存先は任意のフォルダで問題ありません。診断機の「DiagPrintout」フォルダなど分かり易い場所を指定してください。任意のファイル名を入力し「保存」ボタンを押して保存します。「ファイル名.vix」で保存されます。



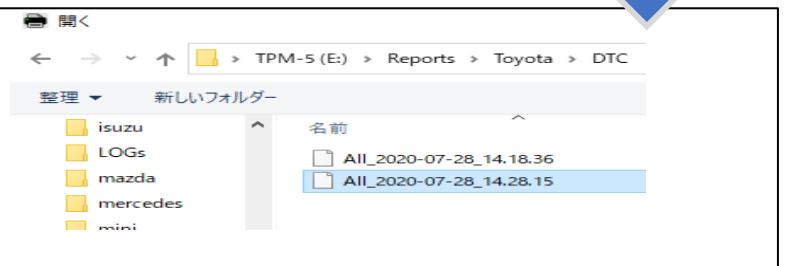
## 4 診断ファイルの選択と読込

### 1.

「DTC診断ファイル」の右側のボタンをクリックし入庫時（作業開始前）と出庫時（作業終了後）各所に保存した診断ファイル（自己診断結果を保存したファイル）を読み込みます。

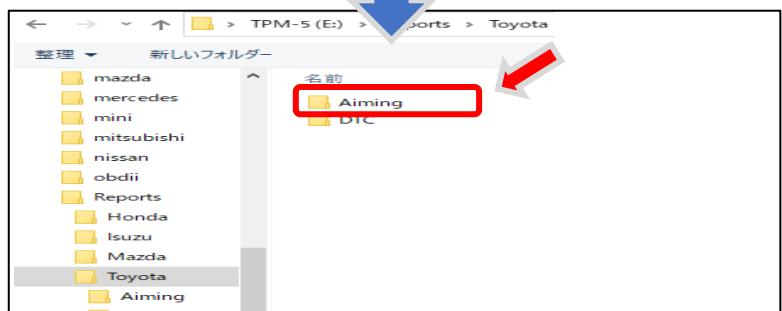
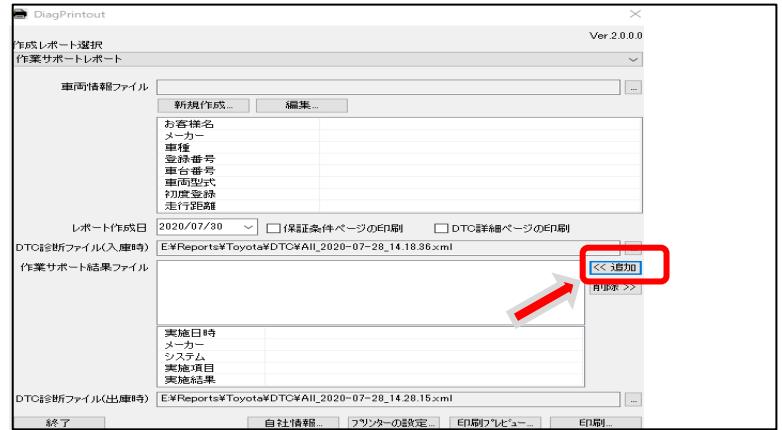


①- 1 本体の「Reports」フォルダに保存されているDTCを読み込みます



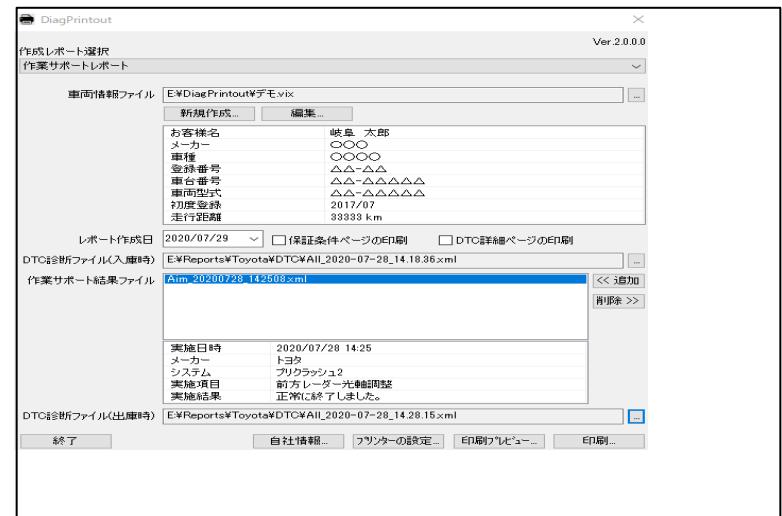
### 2.

「作業サポート結果ファイル」の右側「追加」ボタンより「Aiming」ファイルから読み込みます。



### 3.

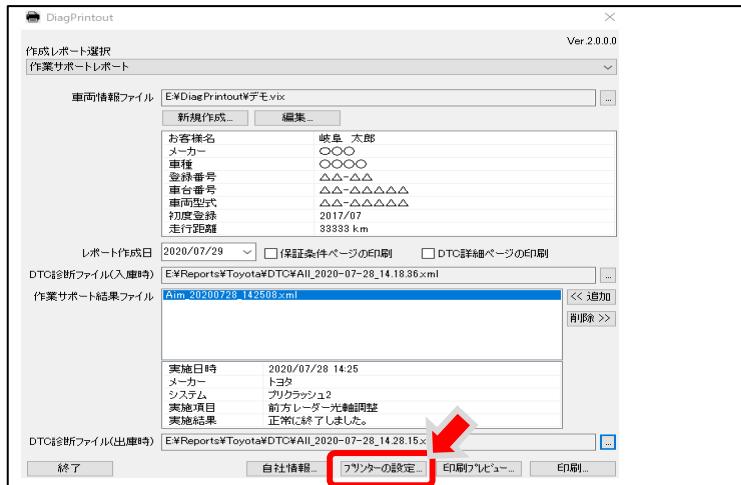
読込が完了した「作業サポトレポート」の内容は「診断レポート印刷イメージ」の診断結果に反映されます。



## 5 印刷設定～印刷

1.

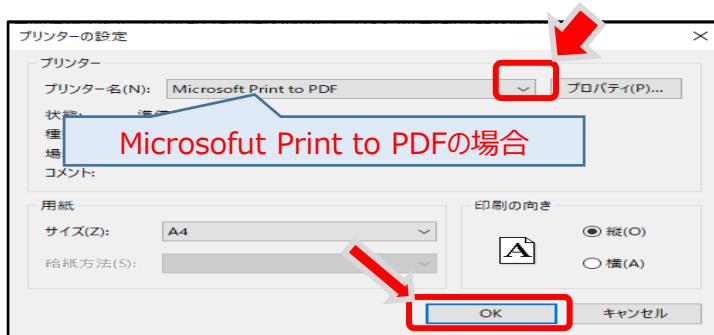
「プリンターの設定」のボタンをクリックしてプリンターの設定を行います。



2.

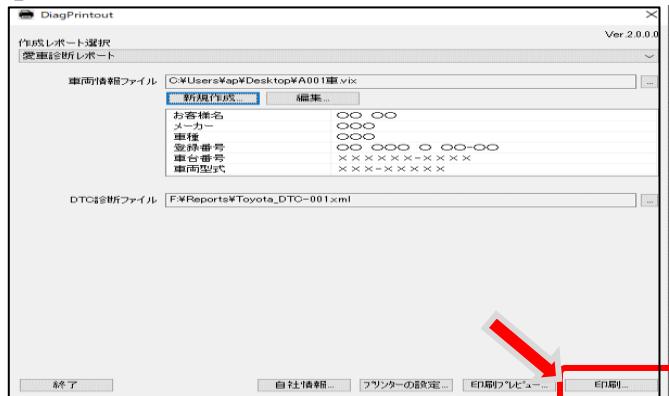
「プリンターの設定」ダイアログが表示されます。

「プリンター名」のタブをクリックして事前にインストールされたpdfプリンターを選択し「OK」をクリックします。



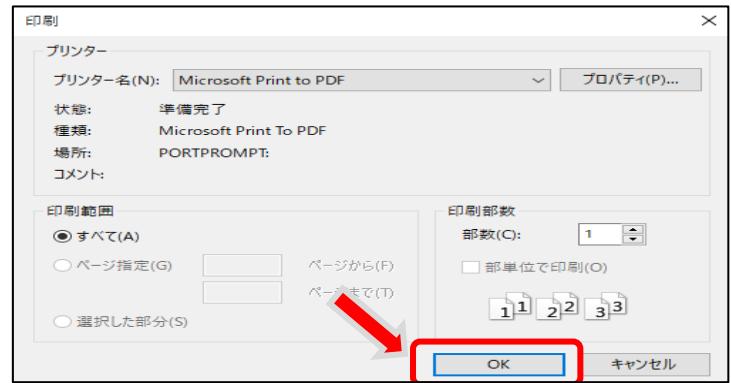
3.

「印刷」をクリックし印刷ダイアログを開きます。



4.

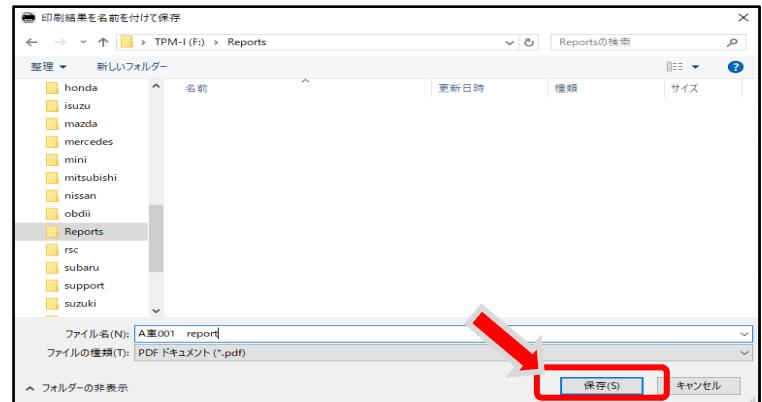
印刷ダイアログが開きますので、プリンター名が2. 項で設定したプリンター名になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。



5.

「印刷結果を名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

任意のファイル名を指定、任意のフォルダを指定して「保存」ボタンをクリックします。



6.

ファイルが保存されましたら、完了です。